

平成26年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 WOWOW

コード番号 4839 URL <http://www.wowow.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 和崎 信哉

問合せ先責任者 (役職名) IR経理局長

(氏名) 尾上 純一

TEL 03-4330-8097

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	35,338	1.1	5,516	11.4	5,854	14.5	3,798	19.4
26年3月期第2四半期	34,966	△0.5	4,953	21.3	5,111	16.9	3,180	17.1

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 3,792百万円 (9.9%) 26年3月期第2四半期 3,450百万円 (38.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	281.46	—
26年3月期第2四半期	220.51	—

(注) 当社は平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首(平成26年3月期)に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	55,091		37,186			67.5
26年3月期	52,797		34,203			64.8

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 37,186百万円 26年3月期 34,203百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,300	2.9	8,500	18.3	9,000	19.3	5,700	19.6	422.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	14,422,200 株	26年3月期	14,422,200 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	926,440 株	26年3月期	926,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	13,495,773 株	26年3月期2Q	14,422,200 株

(注) 当社は平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首(平成26年3月期)に当該株式分割が行われたと仮定して、株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページ「経営成績に関する説明」及び3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は平成26年10月30日(木)に機関投資家向けの決算説明会を開催いたします。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	12
(1) 販売の状況	12
(2) 四半期個別業績情報(参考)	12
(3) 役員の異動(役職の異動)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策等により企業収益が徐々に改善され、景気は穏やかな回復基調にあります。消費増税の消費活動への影響等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

放送業界におきましては、広告市況は回復基調にあり、有料放送市場は、デジタルテレビの普及、BSデジタル放送の多チャンネル化による好影響を経た後、堅調に推移しております。

このような環境下、当第2四半期連結累計期間における収支の状況は、累計正味加入件数の増加に伴い有料放送収入が前年同期に比べ増加したこと等により、売上高は353億38百万円と前年同期に比べ3億71百万円(1.1%)の増収となりました。有料放送収入の増加に伴い販売諸費用も増加しましたが、コンテンツの効率的な投下により番組費が減少したこと等により、営業利益は55億16百万円と前年同期に比べ5億63百万円(11.4%)の増益、経常利益は為替差益の計上等により58億54百万円と前年同期に比べ7億42百万円(14.5%)の増益、四半期純利益は37億98百万円と前年同期に比べ6億18百万円(19.4%)の増益となりました。

当社グループは、放送衛星を使った放送事業に係るサービスを行う「放送」、放送事業に係る顧客管理業務を含む「テレマーケティング」の2つを報告セグメントとしております。各セグメントの状況は次のとおりです。

<放送>

当第2四半期連結累計期間におきましては、「WOWOWプライム」に訴求力のあるコンテンツを集結し、ショーウィンドウとしての機能を強化したほか、「WOWOWライブ」、「WOWOWシネマ」には専門性の高いコンテンツを編成する等チャンネルの編成改革を行いました。

ドラマでは、「連続ドラマW MOZU Season2～幻の翼～」、「連続ドラマW パンドラ～永遠の命～」、「連続ドラマW トクソウ」等のオリジナルドラマが加入獲得を牽引しました。

音楽では、氷室京介のソロデビュー25周年ツアー、「ROCK IN JAPAN FES. 2014」等のライブが、スポーツでは、錦織圭選手が日本人として初めて決勝に進出した「全米オープンテニス」、「スペインサッカーリーグ・エスパニョーラ」が加入獲得に貢献しました。

映画では、「清須会議」等の三谷幸喜映画一挙放送が好評を得ました。

映画製作では、第67回カンヌ国際映画祭コンペティション部門に出品したWOWOW FILMS「2つ目の窓」を、劇場公開に先駆け6月1日に一夜限りのプレミア放送を行いました。

また、会員限定無料番組配信サービスである「WOWOWメンバーズオンデマンド」の強化のほか、お客さまとのエンゲージメントをさらに深めるため、4月から「WOWOWポイント」を本格始動しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における放送セグメントの売上高は339億48百万円と前年同期に比べ2億67百万円(0.8%)の増収、セグメント利益は54億43百万円と前年同期に比べ4億55百万円(9.1%)の増益となりました。

当第2四半期連結累計期間の新規加入件数等は次表のとおりとなりました。複数契約(注)は、当第2四半期末時点において404,047件(前年同期末に比べ28,855件の増加)となっております。

(注) 当社は同一契約者による2契約目と3契約目につき月額2,484円(税込み)の視聴料金を972円(税込み)に割引しており、当該割引の対象となる契約を「複数契約」と呼称しております。

	新規加入件数	解約件数	正味加入件数	累計正味加入件数
加入及び解約件数 (対前年同期増減率)	380,327 (75.9%)	265,726 (8.3%)	114,601 (-)	2,763,045 (6.2%)

<テレマーケティング>

連結子会社の(株)WOWOWコミュニケーションズにおいて、テレマーケティング業務受託、各種コンタクトセンター受託運営を行っております。当第2四半期連結累計期間におけるテレマーケティングセグメントの売上高は、データ分析やSNSを活用したサービス等高付加価値サービスの展開による既存顧客からの受注増やセグメント間売上の増加等により30億57百万円と前年同期に比べ1億62百万円(5.6%)の増収となりました。これにより、セグメント利益は73百万円(前年同期は34百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は550億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億94百万円の増加となりました。主な要因は、流動資産で現金及び預金が増加したことによるものです。

(負債)

負債は179億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億88百万円の減少となりました。主な要因は、流動負債で未払法人税等は増加しましたが、買掛金が減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は371億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億83百万円の増加となりました。主な要因は、四半期純利益の計上及び剰余金の配当によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.7ポイント上昇し、67.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ18億82百万円増加し、120億75百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は51億14百万円(前年同期比17億69百万円増)となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益58億48百万円、減価償却費12億25百万円の計上及びたな卸資産の減少額8億32百万円等であり、主なマイナス要因は、法人税等の支払額16億12百万円及び仕入債務の減少額8億53百万円等です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は24億76百万円(前年同期比4億88百万円増)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出17億6百万円及び定期預金の預入による支出4億58百万円等です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は8億9百万円(前年同期比8億12百万円減)となりました。主な要因は配当金の支払額8億9百万円等です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期通期業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成26(2014)年5月15日に公表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「平成27年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、当第2四半期連結会計期間末において以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

- ① 加入者獲得・維持に関わるリスク
- ② 加入代理店等に関わるリスク
- ③ B S (放送衛星) 利用に関わるリスク
- ④ 当社の地上設備に関するリスク
- ⑤ B-CASカードのセキュリティーに関わるリスク
- ⑥ コンテンツに関わるリスク
- ⑦ 映画製作・配給投資に関わるリスク
- ⑧ 著作権などの知的所有権に関わるリスク
- ⑨ 放送関連法制度に関わるリスク
- ⑩ 加入者の個人情報保護に関わるリスク
- ⑪ 為替レートの変動に関するリスク

各リスク項目の詳細につきましては、平成26年3月期決算短信(平成26年5月15日提出)添付資料4ページの「1. 経営成績・財政状態に関する分析 (4) 事業等のリスク」をご覧ください。当社決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ホームページ(IR資料室))

http://www.wowow.co.jp/co_info/ir/ref/

(東京証券取引所ホームページ(上場会社情報検索ページ))

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,883	14,359
売掛金	3,795	4,029
番組勘定	11,908	11,077
貯蔵品	61	58
繰延税金資産	864	948
その他	1,763	2,213
貸倒引当金	△183	△176
流動資産合計	30,092	32,510
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,379	2,297
機械及び装置(純額)	4,364	4,267
工具、器具及び備品(純額)	842	753
その他(純額)	297	548
有形固定資産合計	7,884	7,867
無形固定資産		
借地権	5,011	5,011
その他	1,475	1,426
無形固定資産合計	6,486	6,437
投資その他の資産		
投資有価証券	7,114	7,220
繰延税金資産	40	28
その他	1,279	1,121
貸倒引当金	△99	△92
投資その他の資産合計	8,334	8,277
固定資産合計	22,704	22,581
資産合計	52,797	55,091

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,123	9,194
未払法人税等	1,590	2,054
賞与引当金	59	54
その他	5,233	5,027
流動負債合計	17,006	16,331
固定負債		
退職給付に係る負債	1,450	1,422
その他	136	151
固定負債合計	1,587	1,573
負債合計	18,593	17,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	2,738	2,738
利益剰余金	28,842	31,831
自己株式	△3,080	△3,080
株主資本合計	33,500	36,489
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	421	424
繰延ヘッジ損益	281	273
その他の包括利益累計額合計	702	697
純資産合計	34,203	37,186
負債純資産合計	52,797	55,091

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	34,966	35,338
売上原価	18,000	17,525
売上総利益	16,966	17,812
販売費及び一般管理費	12,013	12,296
営業利益	4,953	5,516
営業外収益		
受取利息	2	1
持分法による投資利益	191	214
為替差益	—	85
その他	37	38
営業外収益合計	230	339
営業外費用		
支払利息	5	—
為替差損	63	—
その他	3	2
営業外費用合計	72	2
経常利益	5,111	5,854
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	9	6
特別損失合計	9	6
税金等調整前四半期純利益	5,103	5,848
法人税、住民税及び事業税	1,896	2,088
法人税等調整額	27	△38
法人税等合計	1,924	2,050
少数株主損益調整前四半期純利益	3,179	3,798
少数株主損失(△)	△1	—
四半期純利益	3,180	3,798

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,179	3,798
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	294	3
繰延ヘッジ損益	△86	4
持分法適用会社に対する持分相当額	62	△13
その他の包括利益合計	270	△5
四半期包括利益	3,450	3,792
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,451	3,792
少数株主に係る四半期包括利益	△1	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,103	5,848
減価償却費	1,448	1,225
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△29	△14
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1	△4
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	22	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△27
受取利息及び受取配当金	△21	△25
支払利息	5	—
為替差損益 (△は益)	△108	△190
持分法による投資損益 (△は益)	△38	△120
固定資産除却損	9	6
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	102	△234
前受収益の増減額 (△は減少)	2	262
たな卸資産の増減額 (△は増加)	159	832
仕入債務の増減額 (△は減少)	△757	△853
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△208	541
その他の資産の増減額 (△は増加)	86	△362
その他の負債の増減額 (△は減少)	△770	△180
小計	5,006	6,702
利息及び配当金の受取額	21	25
利息の支払額	△5	—
法人税等の支払額	△1,676	△1,612
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,345	5,114
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△412	△458
有形固定資産の売却による収入	1	0
有形固定資産の取得による支出	△901	△1,706
無形固定資産の取得による支出	△269	△312
投資有価証券の取得による支出	△425	—
投資有価証券の売却による収入	0	—
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	0	—
敷金及び保証金の差入による支出	△1	△0
敷金及び保証金の回収による収入	20	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,988	△2,476

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△750	—
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△865	△809
少数株主への配当金の支払額	△6	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,622	△809
現金及び現金同等物に係る換算差額	29	54
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△235	1,882
現金及び現金同等物の期首残高	13,524	10,192
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△386	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,902	12,075

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2.
	放送	テレマーケテ ィング	計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,948	1,389	35,338	—	35,338
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,667	1,667	△1,667	—
計	33,948	3,057	37,005	△1,667	35,338
セグメント利益	5,443	73	5,516	—	5,516

(注) 1. セグメント利益の調整額は連結調整によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

当第2四半期連結累計期間における売上高実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	売上高(百万円)	前年同四半期比(%)
放送	33,948	100.8
テレマーケティング	1,389	108.0
合計	35,338	101.1

- (注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
 2. セグメント間の取引については相殺消去しております。
 3. 放送セグメントには有料放送収入32,575百万円を含んでおります。

(2) 四半期個別業績情報(参考)

① 個別経営成績(累計)・個別財政状態

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	33,948	0.8	5,443	9.1	5,776	10.1	3,749	13.5
26年3月期第2四半期	33,680	0.0	4,987	29.8	5,245	26.4	3,304	27.1

	総資産		純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円
27年3月期第2四半期	49,815	32,286		
26年3月期	47,736	29,338		

(注) 個別経営成績(累計)・個別財政状態の数値は、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

② 平成27年3月期の個別業績予想

本四半期決算短信3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載しましたとおり、平成27年3月期の業績予想を修正しております。

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
27年3月期	69,400	2.6	8,600	19.7	5,500	21.0	407.54

(3) 役員の変動(役職の変動)

新役名及び職名		旧役名及び職名		氏 名	異 動 年 月 日
常務取締役	—	常務取締役	経営戦略局長	橋本 元	平成26年7月1日
取締役	—	取締役	編成局長	牧野 力	平成26年7月1日